

貸借対照表

令和元年10月29日から令和2年3月31日まで

一般社団法人 五色百人一首協会

(単位:円)

科 目	金 額		
	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,006,068		2,006,068
流動資産合計	2,006,068		2,006,068
2 固定資産			
固定資産合計			0
資産合計	2,006,068		2,006,068
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			
負債合計	0		0
III 正味財産の部			
正味財産合計	2,006,068		2,006,068

正味財産増減計算書

令和元年10月29日から令和2年3月31日まで

一般社団法人 五色百人一首協会

(単位:円)

科 目	金 額		
	当年度	前年度	増減
1 経常収入			
寄付金収入	2,206,493		2,206,493
経常収入計	2,206,493		2,206,493
2 経常支出			
会議費	11,466		11,466
通信費	26,626		26,626
消耗品費	109,913		109,913
賃借料	50,000		50,000
支払手数料	2,420		2,420
経常支出計	200,425		200,425
当期経常収支差額	2,006,068		2,006,068
3 経常外収益	0		0
4 経常外費用	0		0
法人税・住民税・事業税	0		0
当期正味財産増減	2,006,068		2,006,068
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額	2,006,068		2,006,068

財産目録

令和元年10月29日から令和2年3月31日まで

一般社団法人 五色百人一首協会

(単位:円)

科 目		金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
普通預金	ゆうちょ銀行	2,006,068
	流動資産合計	2,006,068
2 固定資産		
	固定資産合計	0
	資産合計	2,006,068
II 負債の部		
1 流動負債		0
2 固定負債		0
	負債合計	0
III 正味財産の部		
	正味財産	2,006,068

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産は保有していない

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・該当なし

賞与引当金・・・該当なし

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込処理によっている。

令和元年度（2019年度）事業報告書

一般社団法人 五色百人一首協会

はじめに

五色百人一首とは、三十余年前、小中学生のために小倉百人一首を20枚ずつ5色に色分けしたものです。20枚で対戦できるので1試合が3～4分の短時間で行うことができます。

この五色百人一首はまたたく間に広がり、全国の教室において行われるようになりました。

そして、当会は平成12年、全国各都道府県の小学校の教師が「地元で五色百人一首の大会を開こう」という目的で結成され、「五色百人一首の普及と啓発、伝統的文化の振興と継承に寄与すること」を目的に、活動を行ってきました。

結成当初は全国で12か所の大会開催でしたが、平成14年には全国28か所で100人規模の大会が開催される等年々盛況となり、平成21年には日本国中の全都道府県で大会が開催されるようになりました。

これを受けて、公益法人制度改革関連三法の施行もあり、令和元年10月29日に一般社団法人へ移行するとともに、移行後の当会の果たす役割等を考慮して「五色百人一首の普及と啓発、伝統的文化の振興と継承に寄与するとともに、併せて、情報の共有と提供、相互コミュニティの構築等を図ること」を当会の目的としました。

1 事業の成果

定款に定める「五色百人一首の普及と啓発、情報の共有と提供、相互コミュニティの構築等を行い、文化の振興と継承に寄与する」ことを基本に、各団体との相互コミュニティの構築に取り組み、コミュニケーションを密にして、全国大会を円滑に運営しました。

2 事業の実施に関する事項

1) 非収益活動に関わる事業

イ 全国大会事業

実施日時 令和2年2月9日（日）
実施場所 神奈川県横浜市 大本山総持寺
参加者人数 子供174名

2) その他の事業

なし